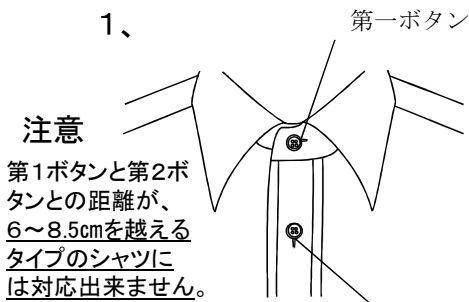
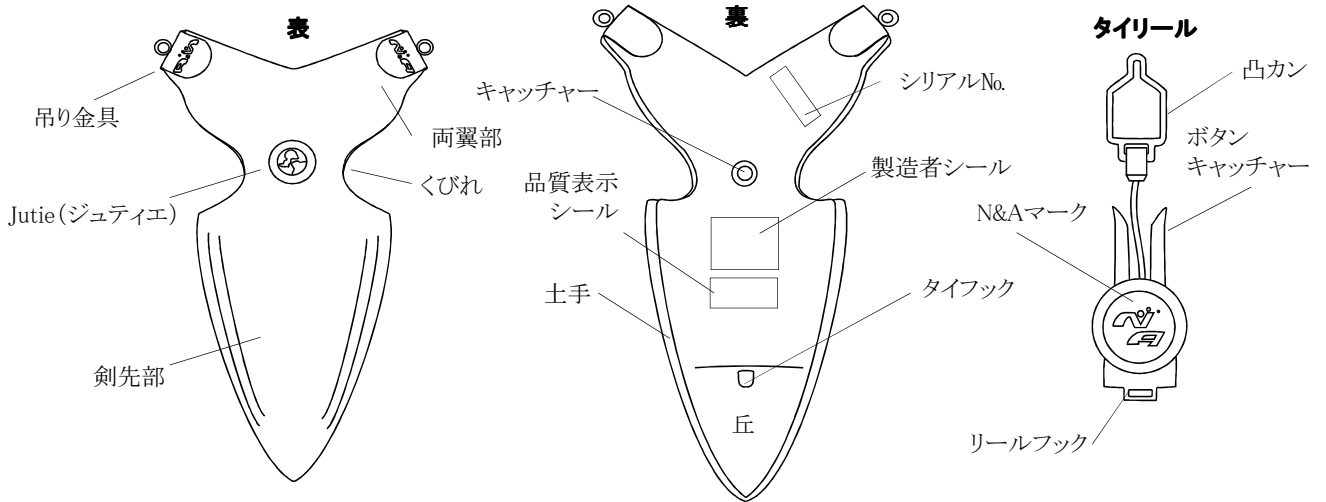
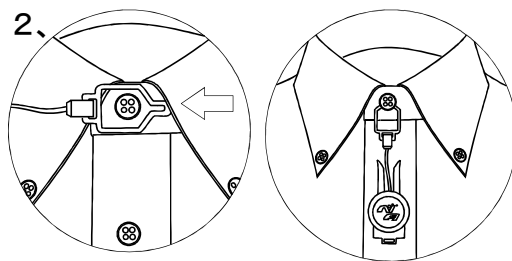


ノーブルタイ 各部の名称と装着方法

製造元 (株)ノーブル・エイペックス

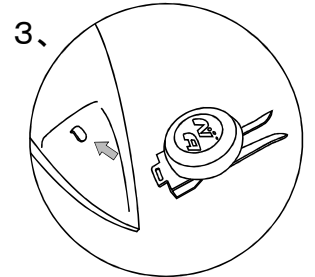


ノーブルタイの装着は、第1ボタンをかけたこの状態からスタートします。

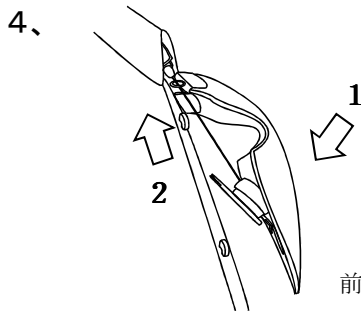


第1ボタンにタイリールの凸カンを差し込みます
凸カンは横右方向へ引きましょう。

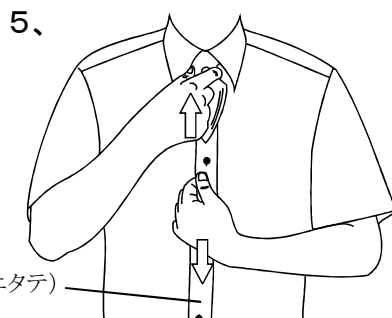
次に、N&A
マークを前方へ向けます。



タイフックにリールフックを挿入します

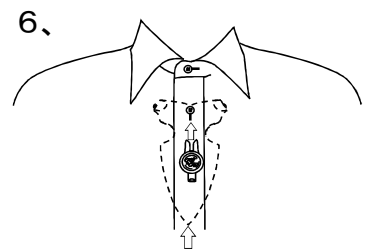


1の動作でノーブルタイを胸元(前立)に押し当てます。
2の動作で、押し当てたまま襟元へとスライドさせます。



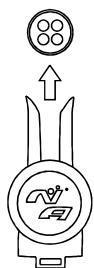
前立(マエタテ)

その時、片方の手でワイシャツの前立部をつまみ、下へ引いていきますとスライドが容易になります。



ボタンキャッチャーが第2ボタンへと進み、やがてボタンを抱え込みます。

6の参照-1



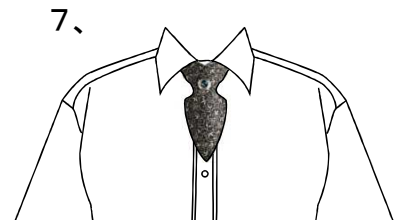
タイをワイシャツに押し当て、前立に沿って上方へスライドさせますと、リールにあるボタンキャッチャーはボタンのほぼ中央に向かって上昇します。

6の参照-2



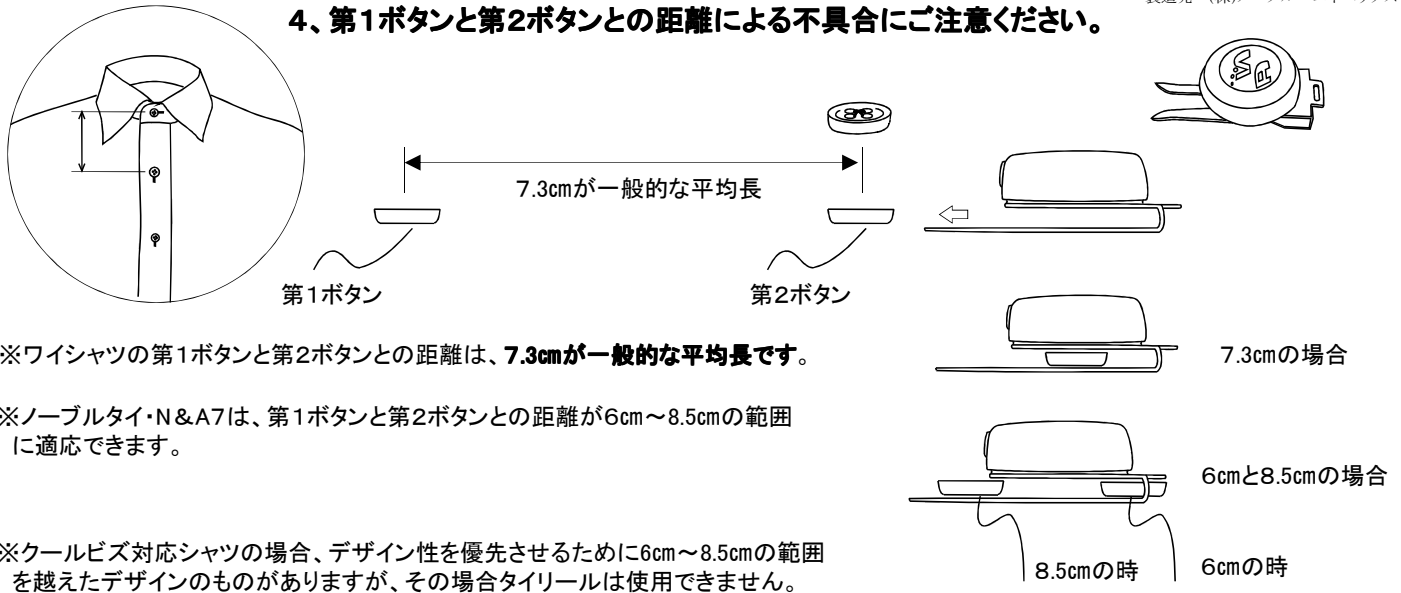
ボタンキャッチャーがボタンを抱え込んだ図です。

更にタイを上方へスライドさせますとボタンはリールのほぼ中央へ収まります。



完了です。ノーブルタイが中央部に固定されました。
日常の活動(通勤、小走り、ダンスをする)では外れません。

4、第1ボタンと第2ボタンとの距離による不具合にご注意ください。



※ワイシャツの第1ボタンと第2ボタンとの距離は、**7.3cmが一般的な平均長**です。

※ノーブルタイ・N&A7は、第1ボタンと第2ボタンとの距離が6cm～8.5cmの範囲に適応できます。

※クールビズ対応シャツの場合、デザイン性を優先させるために6cm～8.5cmの範囲を越えたデザインのものがありますが、その場合タイリールは使用できません。

ノーブルタイと関連商品についてのご注意事項

Noble Tie（ノーブルタイ）及び関連商品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用に際しては次の事項を厳守いただき安全性の確保と適切な使用法に努めて頂きますようお願い申し上げます。

全商品共通事項

- (1)商品の本来目的以外での使用は絶対にしないでください。
- (2)突発的な不慮の事故を防止するため、使用しない時は、幼児やその他正常な判断の出来ない方の目に触れる場所や手の届く場所への保管は絶対にしないで下さい。
- (3)商品に細工・加工を施したり分解などは絶対にしないでください。
- (4)商品に通常使用以外の外的力（衝撃、引張、重圧）を加えないで下さい。
- (5)商品に化学薬品を近づけたり塗布したり、又は化学薬品に漬け込んだりを絶対にしないでください。
- (6)専用の入れ物を使用し日陰で保管して下さい。
- (7)火に近づけたりその他高温となる条件下での使用はしないで下さい。
- (8)水をかけたり、洗濯したり、水中へ浸けこむなどは絶対にしないで下さい。

ノーブルタイ N&A7

- (1)銀（表）面に天然皮革（革versionの場合）を用いていますので、色落ちし衣類に染料が移る場合がありますので、汗をかいたりする場合や湿気の多い場所での使用はしないでください。
- (2)ノーブルタイを首から吊るす場合、不慮の事態が発生した際に頸部損傷となるダメージを及ぼす強度を有するチェーン類や傷害を引き起こす鋭利な部分を有するチェーン類は絶対に使用しないで下さい。必ず弊社販売の正規品をご使用ください。
- (3)濡れた場合、汚れた場合などは、Noble Apex社が提示しているお手入れ方法を遵守して下さい。
- (4)高熱を発生する近くや強い直射日光下では使用せず、また放置しないで下さい。
- (5)ご使用前には、各商品品の緩み変形等を充分点検するようにしてください。
- (6)天然皮革を複合させ形成している商品の特質上、温度や湿度により変形します。別添取扱書に従いそのつど形状を補正することをお勧め致します。

着用&着脱時のご注意

- (1)ノーブルタイ・N&A7には、裏面にタイフック（金属）、上部には吊り金具そして銀面中央部にはジュティエ（宝飾品）が付属されております。これらは金属や硬い樹脂で作られておりますので、シルクなど繊細な生地で出来ている衣服やストール、その他の繊維モノなどを着用された場合、引っかかるなどして生地を傷める場合があります。原則的にそれら繊細な生地で作られている洋服との併用は避けて下さいますようお願い申し上げます。また、やむなく併用する場合には、充分にご注意下さいますようお願い申し上げます。

お手入れ方法

- (1)ノーブルタイ・N&A7は、革versionと布versionでお手入れ方法が違います。原則的にノーブルタイは水洗いもドライクリーニングも不可ですが、汚れの原因となる付着物が付着した直後ですと下記の方法により取り除けます。
- (2)布versionの場合、表面の埃や微細物は粘着ローラーにより取り除きます。食べ物などの液体を付着させてしまった場合には、汚れが乾燥する前に濡らしたタオルを軽く絞って汚れをタオルへ浸み移します。その後、乾いたタオルで水分を十分に拭き取ります。この場合、力を入れて押えますと、むしろ汚れは繊維の中へと入って行きますのでご注意ください。
- (3)革versionの場合、付属のキョンセーム革を用いて汚れをそっと拭き取ります。その後にキョンセーム革を濡らし、軽く叩くようにして拭き取り陰干しをしてください。汚れは時間を置かず出来る限り早く取り除くよう努めて下さい。
- (4)布&革versionともに裏面は防水処理をしておりますので、付着物は濡れたタオルで容易に拭き取ることが出来ます。

ジュティエ

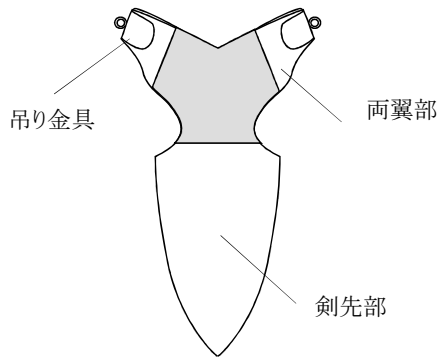
- (1)ノーブルタイN&A7からの脱落事故を起こす可能性のあるジュティエは絶対に使用しないで下さい。
- (2)タイタックのピン部分（針先）で人体に傷害を受けないよう又は第三者に傷害を与えないよう取り扱いには十分に注意してください。
- (3)幼児等が口に入れたり飲み込むなど、常軌を逸した取り扱いとならないよう、事故が起きないよう保管場所や方法には充分注意して下さい。
- (4)宝飾類に適した方法や用具類により定期的な手入れをお勧め致します。
- (5)正規品にありますジュティエ用ピンホール以外の孔を開けたりその孔を使用しないで下さい。

タイリール

- (1)リード（紐状部分）は最後まで引き出さない範囲でご使用ください。最後まで引き出しますと故障の原因となります。
- (2)リードの急速な巻き取りは人体に傷害を及ぼす危険がありますので、リードを延長させた状態で凸カン或いはタイリール本体から絶対に手を離さないで下さい。
- (3)凸カン或いはタイリール本体部分に変形や折れが生じる程の力を加えないで下さい。故障の原因となります。
- (4)リードを強く引いたり、乱暴に引いたりしないで下さい。故障の原因、更には傷害を引き起こす場合があります。
- (5)直射日光の当たる場所、或いは車内など高温となる場所にタイリール本体を放置しないで下さい。また、摂氏50℃以上の熱を加えたり加える可能性のある場所に放置しないで下さい。故障の原因となります。
- (6)ノーブルタイを人体にけん引装着する以外の目的では絶対に使用しないで下さい。

ノーブルタイ 調整方法

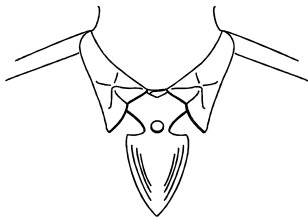
製造元 (株)ノーブル・エイペックス



天然皮革で作られているノーブルタイは、ワイシャツの襟元とのフィット感を得るために革特性を十二分に活用できる設計となっております。温度や湿度によるノーブルタイ本体の形状変化を修正するとは別に、お客様一人ひとりの体形の違いに合致するよう成形できます。左図で色つき部分は、指先等で力を加えることにより、人体襟元に任意同形するように適度の軟性と硬性を併せ持つよう作られています。

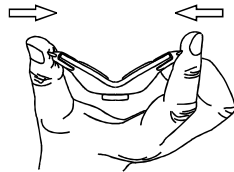
お客様それぞれへのフィット感を得るための微調整は、すべてこの色つき部分の曲げにより行います。

1、



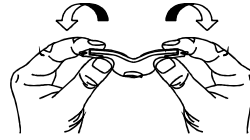
ノーブルタイ両翼部の開き角度が広すぎる場合、図1のように左右の吊り金具がワイシャツの襟を外側へ押し広げる状態となります。これは、襟が突っ張って見目が悪いですし、頸部に違和感を感じることがあります。

2、



その場合、図2のように親指と人差し指で両翼部を挟み内側への反り癖をつけます。

3、



又は、図3のように親指と人差し指で両翼部にねじれ癖をつけます。

4、

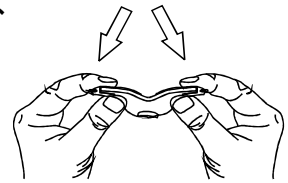


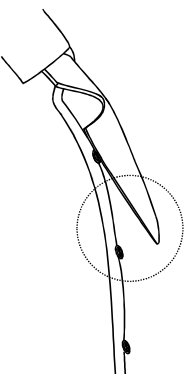
図1とは逆に、ノーブルタイ両翼部の開き角度が狭すぎて左右の吊り金具がワイシャツの襟を内側へ押し込む状態となり、首を締めつけるような違和感を感じる場合には、図4のように両翼部を両手で挟み外側への反り癖をつけます。

ノーブルタイ両翼部の左右開き角度が同じでない場合、図5や図6のように、ノーブルタイの表面が左や右向きに成ります。図2、3、4での調整の際、両翼部の開き角度が左右同じになるよう確かめましょう。

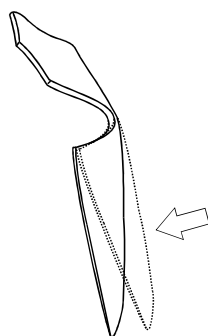
※『せり出し現象』の修正

図7にあるように、温度や湿度による影響や人体個々の体形の違いにより剣先部が人体の前方にせり出す現象があります。図8にあるようにくびれ部分を中心に剣先部に力を加えて図9のような胸元フィット感を得られるよう任意同形修正します。

7、



8、



9、



5、

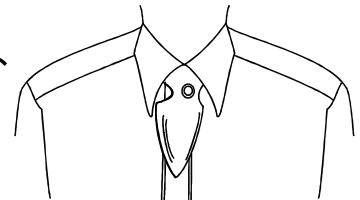


図5の場合、下図のようにノーブルタイの左翼部を矢印方向へ曲げます。

6、

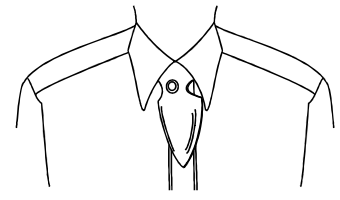
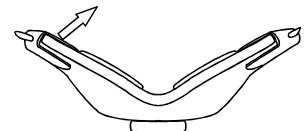


図6の場合、下図のようにノーブルタイの右翼部を矢印方向へ曲げます。



※ ホームページ内の『Nobletie styling』のページも併せてご覧ください。

ノーブルタイ N&A ご使用前にお読みください。

NOBLE APEX INC.

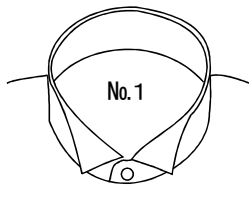
製造元 (株)ノーブル・エイペックス

1、タイリールが使用出来ない襟があります。

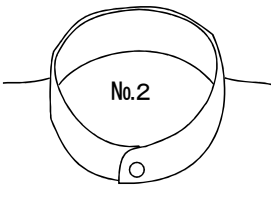
※ 下にありますカラーの場合、タイリールによる装着は出来ません。マグネットチェーンのみの装着となります。
No.4の場合は、美的観点からNGです。



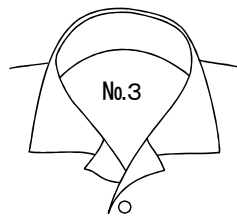
タイリール



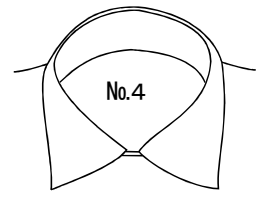
ウイングカラー



スタンドカラー

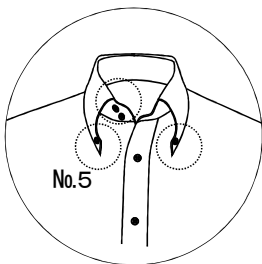


オープンカラー

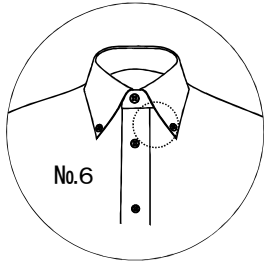


ワイドカラー

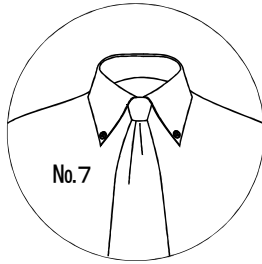
2、クールビズ用のボタンダウンシャツ(デザインシャツ)にご注意ください。



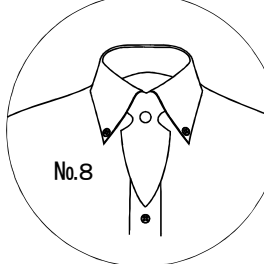
No.5



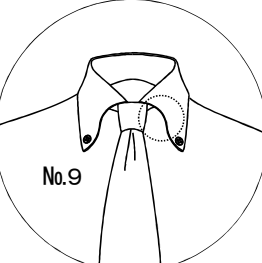
No.6



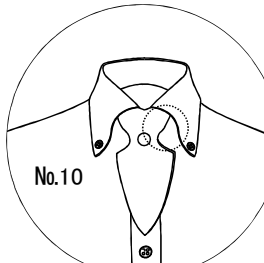
No.7



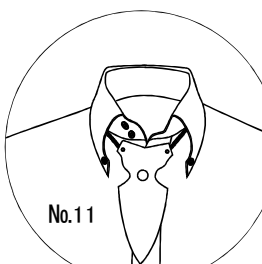
No.8



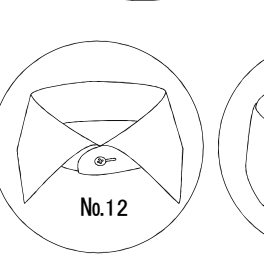
No.9



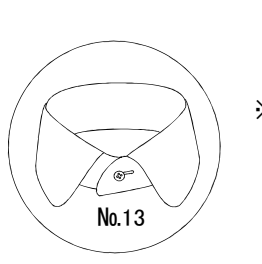
No.10



No.11



No.12



No.13

※ 左のNo.5とNo.6は、一見して同じボタンダウンシャツに見えますが、基本的な部分で大きな違いがあります。

※ No.5はクールビズ対応シャツであり第1ボタンをはずして使用することを前提としています。点線丸にあるように第1ボタンが2個並んでいてデザイン性を重視していますし、ボタンダウンのボタンの役割は、襟を上方へ立ち上げるためのストッパーとしての役割を担っていて、シャツと襟との間に大きな隙間があります。

※ No.6は、本来のボタンダウンシャツであり、襟は常にシャツにフィットして隙間がありません。

※ No.6の本来のボタンダウンシャツに一般的ネクタイ、更にノーブルタイを装着した図がNo.7とNo.8です。シャツと襟との間に無駄な隙間が無く襟元がキリッと引き締まって見えます。

※ ところが、クールビズ対応シャツのNo.5の第1ボタンをかけ一般的なネクタイ及びノーブルタイを装着したのがそれぞれNo.9とNo.10ですが、襟とシャツとの間に意味を感じない隙間(空間)が存在して、見る者にだらしないイメージを与えてしまいます。

※ 本来のボタンダウンシャツとクールビズ対応シャツとの区別を持たない方が急増しています。ノーブルタイをクールビズ対応シャツに用いる場合には、No.11にありますように襟元を開けマグネットチェーンでの装着に限定した方が良いでしょう。

※ ノーブルタイの装着には、No.12、No.13にあるような一般的な襟をもつワイシャツ、又は本来のボタンダウンシャツを選択するようにしてください。

※ クールビズ対応シャツは、襟元を開襟状態で使用するためにデザインされているシャツですから、一般的なネクタイの装着、又ノーブルタイをタイリールで装着することは避けた方が良いと思います。

※ また、クールビズ対応シャツは、デザイン性を重視するあまり、ボタンの厚みや、第1ボタンと第2ボタンとの距離が不ぞろいであるが故に、タイリールを用いる際にいろいろな問題が発生することを予めご承知置きください。

3、ボタンの厚みによる不具合にご注意ください。

※タイリールの隙間は3.2mm前後に設計されています。これは、日本製ワイシャツのボタンの厚みが、ほぼ2.5mm~3.2mmに作られているからです。

※一部海外アジアで縫製されたワイシャツの場合、ボタンの厚さが3.2mmを大幅に超えているボタンが使用されている場合が多々あります。厚みが3.3mmを越えるボタンの場合、ボタンキャッチャーにボタンがはまらない場合があります。

※タイリールのフォーク部分を無理に開きますと根元部分が断裂する場合がありますので、肉厚なボタンの使用は避けるようお願い致します。

